

認知症早期発見の目安



チェックしてみましよう！



- 今切ったばかりなのに電話の相手の名前を忘れる。
- 同じことを何度も言う。聞いてくる。
- しまい忘れや置き忘れが増え、いつも探し物をしている。
- 財布、通帳、衣類などを盗まれたと言う。
- 料理、片付け、計算、運転などミスが多くなった。
- 新しいことが覚えられなくなった。
- 話のつじつまが合わなくなった。
- テレビ番組の内容が理解できなくなった。
- 約束の日時や場所を間違えるようになった。
- 慣れた道でも迷うようになった。
- 一人になると怖がったり、寂しがったりする。
- 外出の時、持ち物を何度も確かめている。
- 「頭が変になった。」と本人が訴えてくる。
- 下着を着替えない。身だしなみをかまわなくなった。
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった。
- ふさぎこんで、何をするのもおっくうがり嫌がるようになった。

奥多摩町地域包括支援センター

☎ 83-8555



「認知症予防に大切なこと」

奥多摩町地域包括支援センター
認知症地域支援推進員 中村
令和2年8月発行

認知症は病気です。ですから、他の病気のように**早期発見**が大切です。

なぜなら、進行を遅らせることができたり、他の病気がみつかるかもしれ



ないからです。**手遅れになる前に発見**して、今の生活を続けられるようにしましょう。

裏のページには、認知症を早期に発見できる**“ヒント”**を載せました

認知症患者さんの家族の方達が、そういえば「あんなことがあった」と思い返し「こんなことがあった」

家族の方達が作った**「認知症早期発見の目安」**です。

一つでも、気になる所があったら、**包括支援センター**に相談してください。

認知症地域支援推進員のひとりごと

いつも考えています・・・
がん検診や定期健診はあるのに、**“認知症検診”**というものは、ないんだよなあ。
何でもない元気なうちから、

頭のCT検査を受けておけば、認知症になったときに比較をすることができるのになあ。一緒に**“認知症検診”**受けられたらいいね。

